

令和 5 年 6 月 1 6 日
国土交通省九州地方整備局
八 代 復 興 事 務 所
熊本県土木部道路整備課

一般県道覚井一武線「球磨大橋」災害復旧事業
事業説明会の開催について

○台風 1 4 号（令和 4 年 9 月）に伴う大雨により、熊本県が管理する一般県道覚井一武線の「球磨大橋」に損傷被災が発生し、現在、迂回路（仮橋）にて供用しているところです。

○「球磨大橋」については、その復旧に高度な技術力を要することから、令和 5 年 3 月 1 7 日より、道路法第 1 7 条に基づき、国の権限代行による本復旧に着手しており、現在、熊本県と連携し、調査・設計を進めているところです。

○今般、概ねの架橋位置やルートについて、事業説明会を開催することと致しましたので、これをお知らせします。

■日 時：令和 5 年 6 月 2 2 日（木） 1 9 時から

■場 所：木上コミュニティセンター

熊本県球磨郡錦町大字木上北 2737 番地

■内 容：①「球磨大橋」災害復旧事業の概要

② 事業の進め方

※報道関係者のみなさまへ

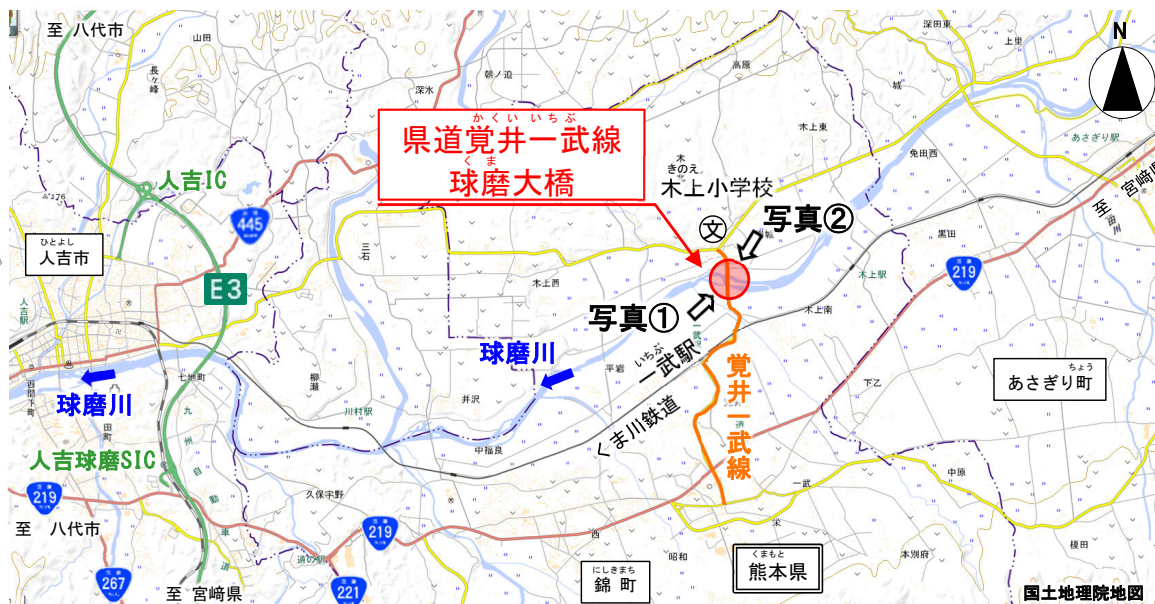
・現地での取材・撮影を希望される方は、駐車場確保のため、別添「送信票」による事前申込をお願いします。

【問い合わせ先】

- ① 国土交通省 九州地方整備局 八代復興事務所 Tel 0 9 6 5—3 9—5 1 0 1（代表）
技術副所長（道路） 坂元 豊久（さかもと とよひさ）
工務第二課長 清原 洋二（きよはら ようじ）
- ② 熊本県 土木部 道路整備課 Tel 0 9 6—3 3 3—2 5 0 0（直通）
審議員 塚本 貴光（つかもと たかみつ）
主 幹 佐藤 慎一（さとう しんいち）

一般県道覚井一武線 球磨大橋(熊本県錦町)

位置図



■球磨大橋(諸元)

路線名: 県道覚井一武線(1,061台/日)
架設年次: 車道橋1957年(昭和32年)
歩道橋1977年(昭和52年)
橋長: 340.7m
幅員: 車道5.5m、歩道2.0m
径間数: 15径間
構造形式: 車道橋 ゲルバー桁橋 ※1
側道橋 PC T桁橋 ※2

■応急組立橋(諸元)

橋長: 約170m
幅員: 7.5m
(車道5.5m(2車線)、歩道1.5m)
その他: 大型車両の通行可
※九州地方整備局(2橋)と四国地方整備局(1橋)が保有する応急組立橋を活用したもの。

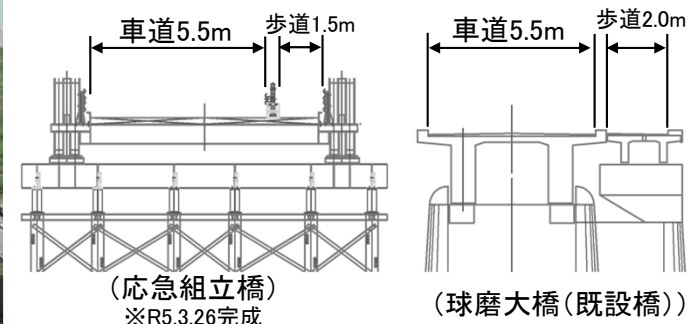
球磨大橋の被害状況



応急組立橋による仮復旧状況

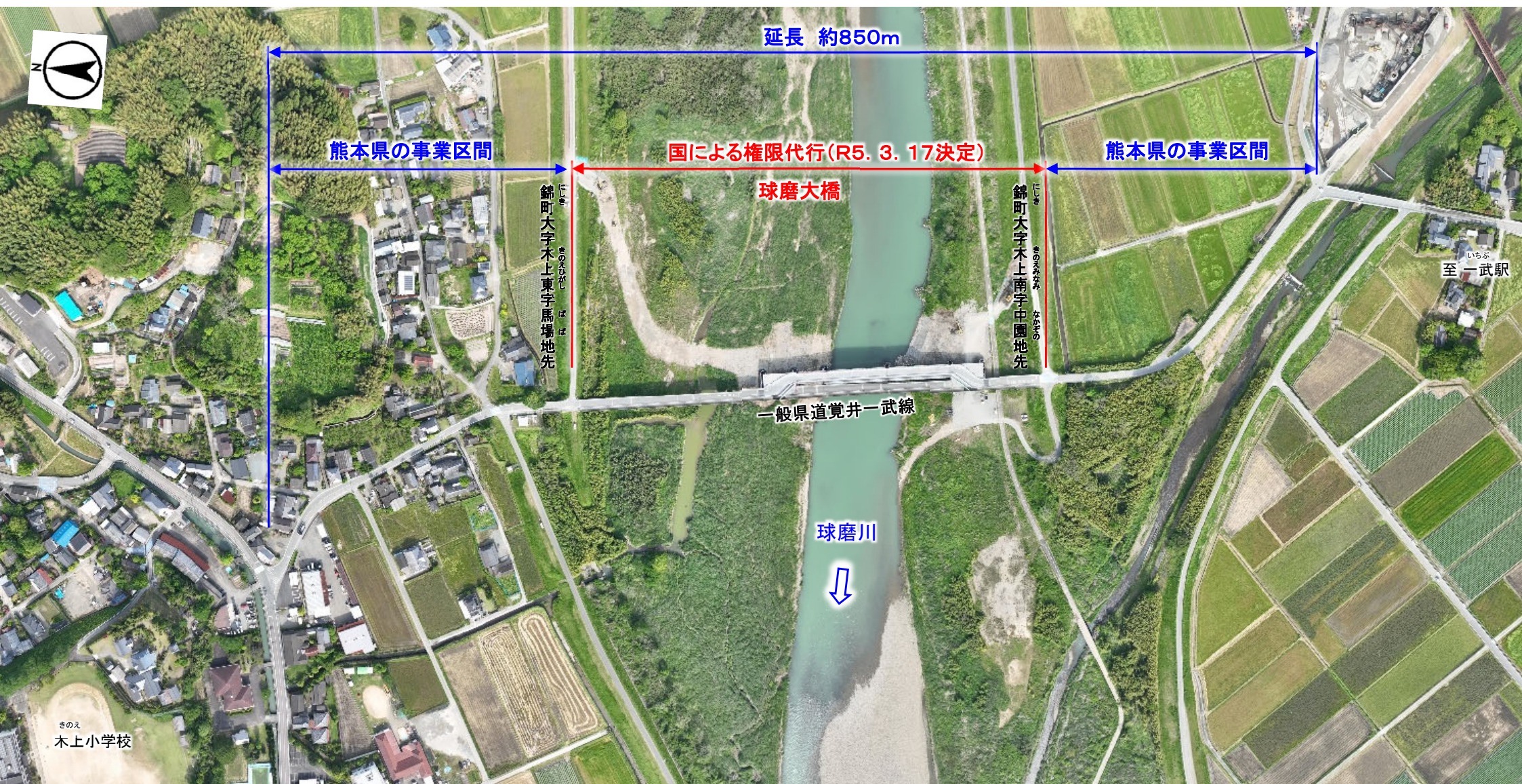


■応急組立橋・球磨大橋(断面図)



※1 ゲルバー桁: 橋脚と橋脚の間の桁にヒンジを設けた桁
※2 PC T桁: 桁の断面がTの形状をしたプレストレストコンクリート製の桁

「球磨大橋」災害復旧事業の区間



一般県道覚井一武線「球磨大橋」災害復旧事業 事業説明会

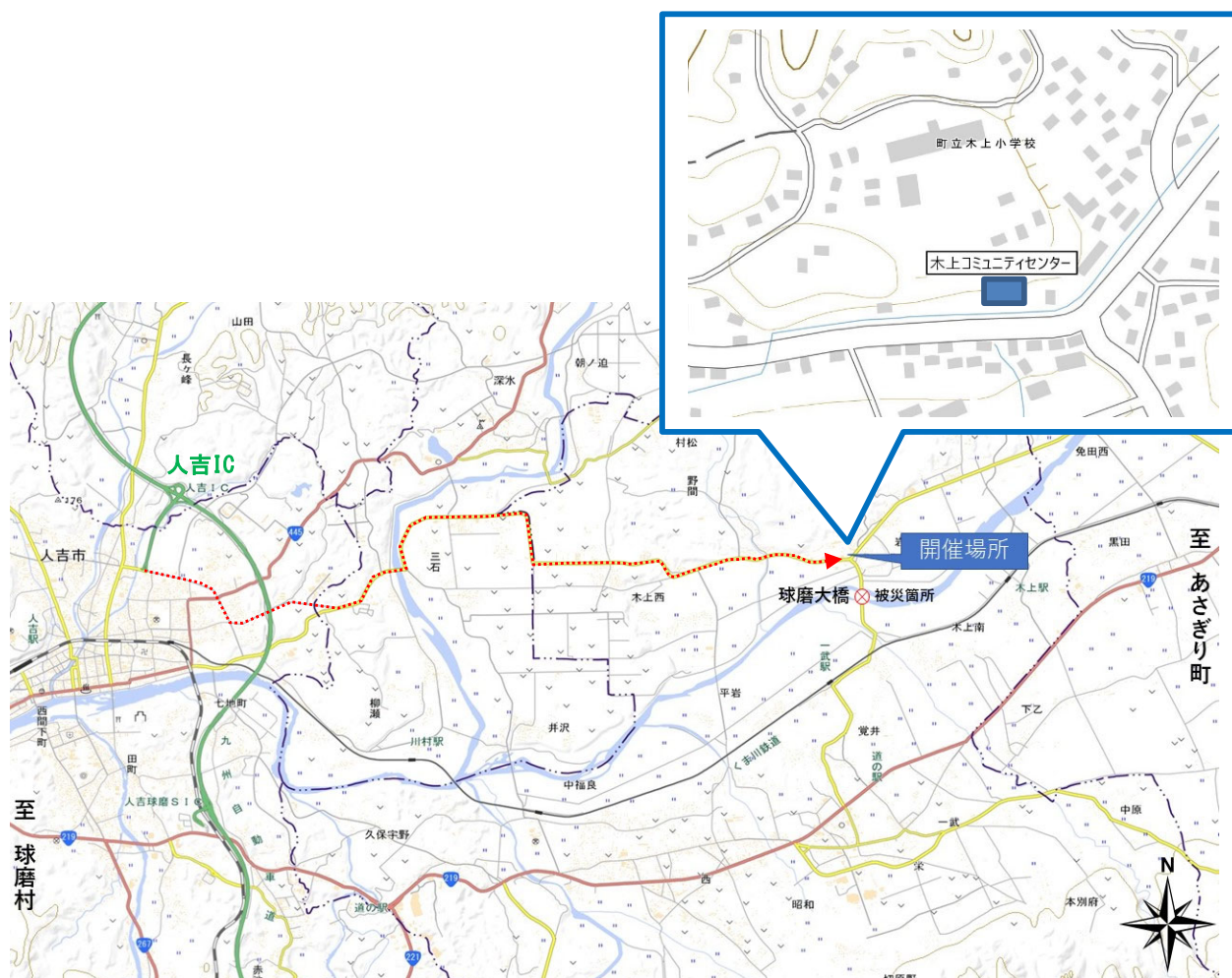
日 時：令和5年6月22日（木）19時から

場 所：木上コミュニティセンター

熊本県球磨郡錦町大字木上北2737番地

【内 容】

1. 「球磨大橋」災害復旧事業の概要
2. 事業の進め方



【開催場所までの所要時間】

・八代市 ～ 人吉IC ～ 県道33号 ～ 現地 ： 約50分

※報道関係者用

国土交通省 九州地方整備局
八代復興事務所 工務第二課 宛
(FAX:0965-43-2572)

一般県道覚井一武線「球磨大橋」災害復旧事業
事業説明会の開催について

日 時 : 令和5年6月22日(木) 19時から

場 所 : 木上コミュニティーセンター(熊本県球磨郡錦町大字木上北 2737 番地)

機関名	参加(来場)人数	車台数	代表者連絡先
	名	台 (車種)	所属(部署) 氏名 連絡先(住所・TEL)

参加者ご記名欄 (参加者全員、フルネーム)		

※手書き記入で結構です。

※事前に申し込みをお願い致します。

※当日の取材について、係員の指示に従い所定の場所に駐車をお願い致します。